



教育行政

佐藤 淳一

問 市民の声を取捨選択し、教育行政に反映するに当たって、大事にしていることは何か。

教育長 第一に、子どもたちの生活、そして学習です。保護者の意見は（自分の）経験の範囲の中で、意見である場合があるので、こうではないかと伝え（取捨選択し）学校経営をさせています。

市長カラーを入れてみては

問 教育長として具体的にやってきたことは何か。

教育長 教職員が学習指導を中心にやるように、（休日も無く練習する）部活動の見直し、（内容の重複する）会議を一つにまとめるなどしています。

問 県内トップで各種指導助手を導入するなど、岩沼市の教育施策は高く評価されている。（市長が替わったが）今後どのように進めていくのか。

市長 これからもできる部分はサポートして、よりよい教育を目指していきます。

問 市長のカラーを出した新たな

（教育） 施策を行う考えはあるか。

市長 学校教育の基盤である安全性、安心をしっかりと担保する、これが一番大事だと思っています。

問 来年度から実施される教育制度改革で設置される、総合教育会議への民意の反映をどのように図っていくのか。

教育長 岩沼の方向性は間違っていないと思っておりますし、市長から（そのまま）指示されています。形は変わりますが、今の教育を継承していきます。

問 総合教育会議での協議事項について伺う。

教育長 市の（教育）大綱、教育の方向性を定めること。教育の重点目標を論じること。緊急事態への対応です。

問 大綱への民意の反映はどのようにはかっているのか。

教育長 保護者、市民の意見は教育委員がきちんと押さえていますので、その意見を参考にし、協議していきます。

議会報編集特別委の調査報告

12月定例会で、議会報編集特別委員会から先進議会の調査結果が報告されました。

名取市「11月11日」

▼議会情報の公開

○議会だより発行スケジュール
定例会の翌々月の1日に発行。一般質問した議員に録音したCDを配布。議案の質疑では担当委員がメモを取り録音も聞き、議会開会中も編集作業を行う。会期中に原稿締め切りを二段構えで設け、原稿ができた分から印刷会社とデータをやり取りしている。

○議会中継システムと費用

生中継と録画中継（5年間蓄積）初期費用20万円。配信サービスなど月額15万円（税別）。

議会中継・録画の配信について時代の流れという受け止め方が多く、反対意見はなかった。アクセン数は多いとは言えないようだが「緊張感ある議会運営の推進」には寄与している。

多賀城市「11月11日」

▼議会情報の公開

○議会だより発行スケジュール

定例会の翌々月の1日に発行。一般質問の回答を事務局が作成し、編集会議に業者が同席することなどで、スピードアップが図られている。

○議会中継システムと費用

インターネット動画配信サイト「Ustream」を使い、生中継と録画配信を実施。導入費用10万円。中継無料。録画を見られるのは3カ月限定で、広告映像が流れまじまじというデメリットはある。

岩沼市議会だよりは正確を期すため会議録に基づき編集作業をしている。発行を早めるために議会中の原稿執筆や締め切りを早めることは議会全体の理解と了承が必要である。議会中継は復興優先で今後の課題となっているが、費用対効果等を考えながら導入を検討する必要があると考える。



多賀城市議会で調査する委員